

科目名		経営情報工学特論 I (Management Information Engineering I)								
学 年	専 攻	単 位 数	必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数				
第1学年	経営情報工学専攻	2 単位	必修	講義	前期	90 時間				
担 当 教 員		【常勤】教授 松野 成悟								
学 習 到 達 目 標										
科目の到達目標レベル	(1)企業経営に関する事例の分析に必要な諸理論や方法論が説明できる。 (2)企業経営に関する事例を適切に分析考察し、その含意を議論できる。 (3)企業経営上の課題を抽出・理解し、解決策を提示することができる。									
到達目標 (評価項目)	優れた到達レベルの 目安	良好な到達レベルの 目安	最低限の到達レベルの 目安	未到達レベルの 目安						
到達目標 ①	企業経営に関する事例の分析に必要な諸理論や方法論が説明できる。 8割以上	企業経営に関する事例の分析に必要な諸理論や方法論が説明できる。 7割以上	企業経営に関する事例の分析に必要な諸理論や方法論が説明できる。 6割以上	企業経営に関する事例の分析に必要な諸理論や方法論が説明できない。 6割未満						
到達目標 ②	企業経営に関する事例を適切に分析考察し、その含意を議論できる。 8割以上	企業経営に関する事例を適切に分析考察し、その含意を議論できる。 7割以上	企業経営に関する事例を適切に分析考察し、その含意を議論できる。 6割以上	企業経営に関する事例を適切に分析考察し、その含意を議論できない。 6割未満						
到達目標 ③	企業経営上の課題を抽出・理解し、解決策を提示することができる。 8割以上	企業経営上の課題を抽出・理解し、解決策を提示することができる。 7割以上	企業経営上の課題を抽出・理解し、解決策を提示することができる。 6割以上	企業経営上の課題を抽出・理解し、解決策を提示することができない。 6割未満						
学習・教育到達目標		(C)②		JABEE基準1(2)	(d)-(1)					
達 成 度 評 価 (%)										
(1)企業経営に関する事例の分析に必要な諸理論や方法論が説明できる。			(1)輪講で評価する。			35%				
(2)企業経営に関する事例を適切に分析考察し、その含意を議論できる。			(2)輪講で評価する。			35%				
(3)企業経営上の課題を抽出・理解し、解決策を提示することができる。			(3)レポートで評価する。			30%				
評価方法		(1)輪講	(2)輪講	(3)レポート	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
指標と評価割合										
総合評価割合		35	35	30						100
知識の基本的な理解 【知識・記憶・理解レベル】		◎	◎	◎						/
思考・推論・創造への 適用力【適用・分析レベル】		○	○	○						
汎用的技能 【 】										
態度・志向性(人間力) 【 】										
総合的な学習経験と 創造的思考力【 】										

関 連 科 目 , 教 科 書 お よ び 補 助 教 材	
関連科目	
教科書	なし
補助教材等	プリント
学 習 上 の 留 意 点	
担 当 教 員 か ら の メ ャ セ ー ジ	
本授業は、企業経営上の課題を抽出・理解し、解決策を提示する能力を養うことを目的とする。そのため、具体的な事例問題に取り組み、また議論することによって、経営学・会計学・商学・経済学等の知識とスキルを総合して企業経営に関する諸現象を分析・解明する手法を学ぶ。なお、具体的な事例問題には、中小企業診断士二次試験で出題された問題を用いることにするが、適宜アレンジした問題も加えることにする。	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス	・ シラバスを通じて、学習の意義や授業の進め方、評価方法などを理解できる。	
2	組織構造の規定要因に関する事例研究	・ 適切な分析にもとづいて事例の概要を理解し、議論を通じて、企業経営上の課題の解決策を提示することができる。	課題を予習し、レポートを作成する。
3	SWOT分析と戦略マネジメントに関する事例研究	・ 適切な分析にもとづいて事例の概要を理解し、議論を通じて、企業経営上の課題の解決策を提示することができる。	課題を予習し、レポートを作成する。
4	Webビジネスの特徴と課題に関する事例研究	・ 適切な分析にもとづいて事例の概要を理解し、議論を通じて、企業経営上の課題の解決策を提示することができる。	課題を予習し、レポートを作成する。
5	多角化戦略に関する事例研究	・ 適切な分析にもとづいて事例の概要を理解し、議論を通じて、企業経営上の課題の解決策を提示することができる。	課題を予習し、レポートを作成する。
6	損益分岐点分析（本科の復習）	・ 損益分岐点分析の概要が理解できる。 ・ 限界利益と貢献利益の異同が理解できる。 ・ 安全余裕率（経営安全率）が理解できる。	課題を予習し、レポートを作成する。
7	財務分析（本科の復習）	・ 財務分析の概要が理解できる。 ・ 収益性、効率性、安全性の各指標が理解でき、計算することができる。	課題を予習し、レポートを作成する。
8	戦略と財務・会計に関する事例研究 ①	適切な分析にもとづいて事例の概要を理解し、議論を通じて、企業経営上の課題の解決策を提示することができる。	課題を予習し、レポートを作成する。
9	戦略と財務・会計に関する事例研究 ②	適切な分析にもとづいて事例の概要を理解し、議論を通じて、企業経営上の課題の解決策を提示することができる。	課題を予習し、レポートを作成する。
10	戦略と財務・会計に関する事例研究 ③	適切な分析にもとづいて事例の概要を理解し、議論を通じて、企業経営上の課題の解決策を提示することができる。	課題を予習し、レポートを作成する。
11	戦略と財務・会計に関する事例研究 ④	適切な分析にもとづいて事例の概要を理解し、議論を通じて、企業経営上の課題の解決策を提示することができる。	課題を予習し、レポートを作成する。
12	差別化戦略に関する事例研究	適切な分析にもとづいて事例の概要を理解し、議論を通じて、企業経営上の課題の解決策を提示することができる。	課題を予習し、レポートを作成する。
13	情報システムのアウトソーシングに関する事例研究	適切な分析にもとづいて事例の概要を理解し、議論を通じて、企業経営上の課題の解決策を提示することができる。	課題を予習し、レポートを作成する。
14	企業間情報ネットワークに関する事例研究	適切な分析にもとづいて事例の概要を理解し、議論を通じて、企業経営上の課題の解決策を提示することができる。	課題を予習し、レポートを作成する。
学年末試験			
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	・ 試験問題の解説を通じて、間違った箇所を理解できる。 ・ 全体の学習事項のまとめが理解できる。	
総 学 習 時 間 数			90 時間
講 義			30 時間
自学自習			60 時間